

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成27年度 第2回社会教育委員会	
開 催 日 時	平成28年3月16日（水） 15:30～17:10	
開 催 場 所	宍粟市役所 4階 402・403会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長 宗平圭司 副委員長 中村美代子	
委 員 氏 名	（出席者） 宗平圭司、中村美代子、大前千里、船積攝子 小池正明、田住学、赤松茂範、宮元裕祐 福岡久藏、志水修、板東亨、清水兼男	（欠席者） 宮脇昭介 山木康子
事 務 氏 名	西岡教育長、藤原部長 （市民協働課）樽本課長、石垣係長 （人権推進課）富田次長、柴原係長 （社会教育課）田路課長、大谷、亀井、清水、藤井、原	
傍 聴 人 数	なし	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ・宍粟市スポーツ施設条例の一部改正 ・宍粟市教育集会所条例の廃止 ・社会教育課（平成26年度）事務事業評価	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	会議次第、社教情報、社教連会報	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員	報告事項 宍粟市スポーツ施設条例の一部改正、宍粟市教育集会所条例の廃止について報告（市民協働課、人権推進課）
事務局	・千種B&G温水プールの利用料についてお聞きします。小中学生がスポーツ施設を利用する場合、無料で利用できる制度があったかと思うのですが、この温水プールでは料金が発生するのでしょうか。
事務局	・規則については改正しておりませんので、15歳以下、65歳以上の人は無料でご利用いただけます。
委員	・もうひとつ質問です。同じような施設が一宮のスポニックパークにもありますが、回数券を持っている人や年会員が共通して両施設を利用することはできますか。
事務局	・スポニックパークについては指定管理者がすでに決定しておりますが、千種B&Gは建設後、指定管理者を募る予定です。もし運営形態が同じであれば共通利用も考えられるかとは思いますが、現時点では共通部分については考えておりません。
委員	・できればふたつの施設連携をとり、共通で進めていただければと思っております。
委員	協議事項 社会教育課事務事業評価の説明（社会教育課）
事務局	・市民大学で「学士以上の受講生の意見交換会を設け、今後の取組について前向きな意見をいただいた」とありますが、参考までにどのような意見が出たのか教えてください。
事務局	・参加するごとにパスポートにスタンプを押してもらい学習の励みになるという意見もありました。それ以外には、各町の高齢者大学講座を市民大学に組込み公開講座として実施することで、普段自分が行かない場所での受講ができました。市役所の各部局が実施する講座を組込むことで、様々なテーマの講座を受講することができました。
事務局	また、座学だけでなく、屋外に出て見学するような講座もあればいいのではないかとの意見もありました。
委員	・前にも言ったかと思うのですが、自己研鑽のために講座を受講するのはいい

事務局	<p>ことだと思っておりますが、横への広がりとなるような人材バンクのようなものをつくってみてもいいのではないかと思います。実際に利用される人がどれほどいるかわかりませんが、そういう場づくりがあってもいいと思います。</p> <p>・検討させていただきます。</p>
委員	<p>・波賀町では町民大学・大学院が開催されていますが、大学院は日中に開催されることが多いので、仕事を持っている人は参加しづらい状況です。また、しそく学びパスポートという事業があるようですが、成人世代が共に学ぶということにうとくなっている中で、どのように啓発していくのか考えて事業展開されているのですか。</p>
事務局	<p>・PRにつきまして、広報やホームページ、しーたん通信なども利用していますが、その時間帯に放送を聞けなかったり、ホームページを開ける環境にない人もいらっしゃるのと、なかなか難しいところではありますが考えられる範囲でのPRは行っています。より多くの方に受講いただいて学ぶ楽しさや魅力を口コミで伝えていただくのが一番いい方法かとは思いますが、今後PRの方法について検討課題としていきます。</p>
委員	<p>・目標の文言の中で「私たち」という表現があるが、これは誰を指すものでしょうか。</p>
事務局	<p>・市民の方です。</p>
委員	<p>・私としては、社会教育課のみなさんかと思っていたのですが違うのですか。</p>
事務局	<p>・私たち社会教育課の職員も学びを深めていかないといけないのですが、生涯学習という観点からいうと広く市民の方になるのかなと思います。</p>
委員	<p>・書いてある内容について、本当に市民が中心となることができるのか疑問に思います。</p> <p>宍粟で陶芸をされている人はプロも含めて非常に多く、その人たちが一緒になって宍粟として陶芸のお祭りを開催してはどうかと以前から山崎の人には言っています。山崎には山陽さんが築いた穴窯があります。その窯で焼けば非常に素晴らしいものができます。窯の利用などについても呼びかけているが、なかなか前に進みません。自分のためには動くが、他の人と組んで動いたり人のために行動される方はいません。弟子を数名とって小規模には活動されるが、宍粟全体として動くという事には消極的という話を聞きます。個人的にも働きかけはしてみたが、やはり消極的です。</p> <p>前にも言ったのですが、推進役として市役所・教員退職者が動いてくれないと前に進みません。推進する人材を選ぶのは非常に大事なことです。社会教育課の人数もそう多くないので、何かするにしても難しい。そこで中心になって進める人、推進役を立てて育成していかないとやっていけないと思います。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の原点となる部分についてご指摘いただいたかと思ひます。人材の育成は社会教育の主軸かと思ひますし、また真摯に受け止め、今後もみなさんのお知恵を借りて検討していきたいと思ひます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施策2の施策推進の柱の2で「家族や親子で体験できる活動」とありますが、具体的にどのようなものがありますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先程の話とも関連するかもしれませんが、自分たちの学びについては積極的にされますが、他の人の学びに対しては消極的な感じがします。そこで館所で活動されている団体と連携し、普段の活動のやり方を少し変えて親子で参加できる教室などを計画・実施することで、自分たちの学びを伝えていくような展開を図っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も夏休みに子どもと波賀の施設で木工などの体験教室に参加しました。それもいいと思うのですが、子育ての勉強をする機会があればとも思ひます。以前、青山で1泊2日の教室があり子どもと一緒に参加したのですが、子ども達が星空を見ている間に親で集まり、子育てについての意見交換やお話を聞きました。子育てというと母親に任せてしまっている部分も多いですが、男親が参加し子どもについて勉強する機会も大切だと思ひます。親子で体験というのは、物づくりだけでなく、親が学ぶ機会も作ってほしいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育でできる範囲になるかとは思ひますが、そういった機会についても考えていきたいと思ひます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・宍粟市でも子どもが大きくなるまでに色々と援助はしてくださっているとは思ひますが、大きくなってしまったらその子どもが市外へ出ていってしまいます。事業を実施する中で、宍粟市のいいところを伝えていってもらえれば宍粟市のことを思ってくれる子が増えるかと思ひます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の分野で、歴史や文化といった話とも関わってくるかと思ひます。子ども達が自分達の育ったところに誇りや愛着をもつ仕掛けづくりは大事だと思ひます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとを愛する心を育てる方策ということでお話しいただいたのですが、これは学校教育でも非常に大きなテーマとしておりまして、高校を卒業しますと大部分の子が就職や進学で市外へ転出してしまふという現実があります。ですが、将来的には帰ってきてくれる、宍粟を進路選択のひとつに選んでくれる、そういう子どもを早い時期から育てていくことによって、ふるさとを愛し宍粟の風景を原風景として持ってくれる子どもを増やしていきたいと考えています。 そこで、平成26年度から「いきいきプロジェクト事業」として予算計上し、学校ごとの計画にあった予算を配分し実施しています。その中で、ふるさと学習や、地域のことについて話を聞いたり学んだりする機会を取り入れていま

	<p>す。4年生ではふるさと探検隊で市内を探検したり、3、4年生の社会科の教科書では宍粟市内の情報をまとめた副読本を使って学ばせたり、自然学校も今は市内で行う形にしています。なかなか、定着とまではいきませんが、子ども達が宍粟を愛し、市外に出ても宍粟をふるさととして思ってくれるような願いを持って取り組んでいます。</p>
<p>委員</p>	<p>・波賀の道谷小学校が閉校となりましたが、道谷小学校は地区の入り口にあります。そこから北へ家屋が並んでいるのですが、道谷小学校が閉校したことによって道谷地区は灯が消えたようになったと思います。子ども達が4時頃に先生と一緒に一軒一軒声をかけて帰っている姿を見て、この地域の人たちは本当に寂しい思いをしているなど感じます。</p> <p>施策3の施策推進の柱2に「地域づくりや交流活動を支援します」とありますが、道谷地区の人たちはそういう手解きを受けているのですか。過疎化も進んでいますし、学校というのは地域の拠点だったと思います。そういう事について、考えていらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>・道谷小学校の活用については、現在、民間に投げかけている状態です。まだ、はっきりとした方向性は決まっていません。確かに小学校は地区の入り口に建っており、もうしばらくしたら綺麗な桜が咲く時期がやってきます。例年なら、その下で子ども達が賑やかに騒いでいたのですが、今は寂しい状態になっています。ただ、地域、自治会としては今も元気にされていますし、市民局も新たな方向を検討していると思いますので、社会教育分野としても協力させていただければと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>・染河内小学校は跡地利用の話があるようにお聞きしているのですが。</p>
<p>委員</p>	<p>・林業大学ですね。専修学校で、2年制です。</p>
<p>委員</p>	<p>・小学校の閉校は今からも続いていくと思いますし、再利用について検討していただけたらと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>・閉校した学校の活用については、三段階の方法をとっておりまして、まずは市の活用を検討する。この方法で活用しているが野原小学校になります。それがなければ、二番目として自治会での活用を検討する。この方法で活用されているのが鷹巣の千種東小学校で、今は「たかのす小学校」と名前を変えて、整備し食事を提供したり、ピザ釜を作って人を呼ばれたり、吊るし柿講習をしたりして、地元の人が活用されています。</p> <p>それらなければ、三番目として公募をかけ企業の活用を募る。その例のひとつとして土万小学校は、この4月から相生学院高校土万校として利用されます。それから、染河内小学校は平成30年に閉校するのですが、28年から生徒を募集して、29年に文科省認可の森林大学校が開設されることとなっています。</p> <p>しかし、今、全く利用されていないのが千種北小学校です。利用していないの</p>

	<p>で、今は少し荒れた状態になっています。今年度末で閉校する繁盛、三方、下三方小学校につきましては、市では活用の目処がないので、地域で活用いただけるか検討してもらっている段階です。</p>
委員	<p>・市や、商工会、観光協会の方で、波賀町に昔あった森林鉄道の見直しを行い、観光に結びつかないか研究（検討）するのに予算もついているようですが、地域の歴史・文化遺産といったものとの連携はどのようになっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>・ご指摘のように、まちづくり協議会でお宝調査ということで説明板なども設置されているかと思います。また森林鉄道については、市民局で写真展を開催しました。直接、社会教育課との関わりは持っていなかったのですが、社会教育、文化財の面からも貴重な地域の歴史資源として調査なり資料の収集をしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>・ぜひ連携してもらい森林鉄道は無理でも、何か観光や、歴史・文化継承に役立てていただければと思います。</p>
委員	<p>・宍粟橋の西詰の北の遺跡で山崎藩時代のものが破壊されてしまったと聞きました。非常に残念でもったいないことをしてしまったなという思いがしました。あの工事は国土交通省の直轄の事業だと思うのですが、宍粟市は直接関係ないかもしれませんし、私も詳しい事情はわかりませんが、非常にもったいないと思いました。山崎藩時代の遺跡は少ないですし、たたら鉄の搬出の船着き場でもあったということで惜しいなと感じました。何とか残すことはできなかったのでしょうか。</p>
事務局	<p>・河川改修は国交省が進めている工事で、旧山崎町の頃から色々と議論があったようですが、流域の防災・災害防止が優先され、そういう経過の中で最終的に取り壊しになったようです。船着き場につきましては、国交省の理解もあって残してもらっています。また、たたらについては別途調査を進めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>・一部は残ったということですか。</p>
事務局	<p>・はい。船着き場は残っています。</p>
委員	<p>・残ったのなら少しはよかったかと思いますが、少なくともそれも含めて最大限残す方向でご尽力いただきたいと思います。</p>
委員	<p>・「歴史資料の集約や伝統民俗芸能の団体」と書いてありますが、歴史資料の集約については、今、高齢の方から昔からの地域の歴史を聞いておかないともう集約ができない状態に危機迫っていると思います。こういったことへの支援はあるのですか。また、伝統民俗芸能保存団体については、どのような団体が</p>

	あり認可されるのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まず歴史資料の集約については、地域の高齢者で伝説や昔話を伝承されている方もたくさんいると思うのですが、体系的、計画的になかなか集約が難しいところがあり市として進められていないのが現状です。 <p>伝統民俗芸能については対象となるのが、今は獅子舞保存団体とチャンチャコ踊りの団体です。地元で保存会を組織し一定の規約を定めて活動されている団体へは、市から補助をさせていただいています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車について、さらに増やしたいと言われていましたが、波賀は北部にも行かれているようですが、山崎や一宮ではどこまで行かれているのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車ささゆり号には、約1500冊の積載図書があります。波賀では合併前から自治会回りを行っており、現在も続けています。学童の時間帯に合わせて学校へも行っています。千種については、高齢者大学の開催日に合わせてセンターちくさへ行っています。一宮では繁盛へ行っており、染河内からもきてほしいという要望がありましたので学校とセットで行っています。山崎は蔦沢地区では、都多小学校や介護老人福祉施設ありがとう、学遊館をセットで回っています。また、要望を受けて菅野地区のプラットホームさつきにも行っています。 <p>図書館車の運行を拡大していこうということで宍粟市のねらいとしては、学校の図書室と連携をとり、子どもの読書離れに対応したいと考えています。子どもに焦点をあて読書に親しんでもらう場として移動図書館車があり、司書がブックトークなどを行い、子ども達と触れ合える場を作っていけたらいいなと思っています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一宮の千町へは行ってないのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・行っていません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公文なども行ってませんか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・センター繁盛までです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、千種の鷹巣や河内などで、車で外出できない高齢者で本を読みたくても借りに行けない人もいます。山崎、一宮なども含めて、そういった所への運行拡大を検討いただければと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・予算との関係もありまして一挙には難しいとは思いますが、拡大はしていきたいとの思いは持っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車をただそこに置いておくだけでなく、本に親しんでもらうきつ

事務局	<p>かけ作りを企画してくれればと思います。知り合いによく薦めますが、利用する人と利用しない人の差はきっちりと分かれています。利用している人はかなりの頻度で利用しているが、利用しない人は全然利用していません。もっと敷居を低くする工夫を考えていただきたい。</p> <p>・今のお話は普段よく感じていることでして、図書館というと小説ばかりが置いてある所という印象を持っておられるようです。農業など日常生活の中に関わる図書も充実していますので、なんとか一度足を運んでほしいという思いもっています。今、図書館の登録者が1万人ほどで、宍粟市の4人に1人は登録いただいています。この割合を高めるために、図書館だよりや広報で本の紹介を行っています。</p>
事務局	<p>・本日の追加資料「播磨圏域連携中枢都市圏事業」について説明</p>
委員	<p>・体育協会は競技スポーツを中心に実施しており、基本的には人のためにしているのですが、この会議の前半でも意見が出ていましたが、人のためにするというのに陰りがでており、何とかしなければいけないと感じています。</p> <p>そこで今考えているひとつの例をあげると、どろんこバレーに出場している宍粟市のチームに、ボランティアとして何らかの手伝いをしていただけませんか呼びかけをすることです。それぞれの大会で、市内の参加者へボランティアとして協力いただくよう働きかけていかないといけないと思っています。待っているだけではどうにもならないので、さつきマラソンでも同じようにしていきたいと考えています。</p> <p>特に市役所職員には、一番近いボランティアとしてできるだけたくさん参加していただいて、それぞれのよさを知っていただければと思います。</p> <p>先程までの話でも出ていましたが、地域の良さを知るとか、地域に根付くということの基本はお祭り、運動などではないでしょうか。</p> <p>新しい事を始めるのではなく、今行っていることをより充実させ、周知徹底していきたいです。宍粟市の人でも行事について知らないことが多いので、たくさんの人に知ってもらえるような働きかけをしているところです。</p>
事務局	<p>・最後に、マイナンバー制度による債権者登録票の提出依頼をして閉会とする。</p>

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。